

## 令和5年12月 基山町定例教育委員会 会議録

日時 令和5年12月22日（金）9：30～11：30

場所 基山町庁舎2階 201会議室

教育委員 出席4名 天野雪子、田口英信（職務代理者、津川典善、福永真理子

教育長 柴田昌範

事務局 古賀課長、寺崎係長、音成指導主事、水田指導主事

### 教育長報告

#### 1. はじめに（教育長あいさつ）

- ・天野委員さんについては任期満了で今回が最後ということとなった。とても残念だが、今後も教育委員会に対し、ご理解、ご協力いただくとともにご意見等あったら是非、お願いしたい。
- ・11月はインフルエンザでの学級閉鎖や学年閉鎖等が続いていたが、12月になって落ち着いている。天野校長の報告によるとインフルエンザによる欠席がゼロになったとのことだが、一方でコロナの欠席も出ているということなので、感染症の波が今後も続いていくのかなと思っている。また、感染症が大きく流行することがないことを願っている。
- ・12月も様々な行事が実施されている。地域の方を招いて、しめ縄作りとか、餅つきとか、授業参観であるとか、基山っ子集会・若基っ子集会、感謝の会等の行事が行われて、地域の方との交流等もまた始まってよかった。
- ・今日は2学期の終業式ということで1月9日火曜日が、3学期の始業式となっている。
- ・文化財の方では、今年が天智天皇欽仰之碑の建立90周年並びに特別史跡に指定されて70周年に当たるため、先日は福永先生による立派な創作劇が行われた。今回の創作劇もとても高い評価を受けていたと思う。ふるさとを知り、郷土の歴史を知ることができるいい取組だと感じている。福永委員さん、本当にお疲れ様でした。

#### 2. 報告事項

##### (1) 異動事務関係

- ・校長、教育長、事務所長（教育指導監）合同面接 12月22日（金）本日後～

<教育長>

人事異動がいよいよ本格的に始まるということで、今日の午後、東部教育事務所と校長と基山町教委の合同面接を午後2時から4時過ぎまで行うこととしている。

##### (2) 新教育委員について

天野 雪子教育委員の任期満了に伴い、12月定例会町議会で同意

任期 令和6年1月1日 から 令和9年12月31日まで

住所 17区 けやき台

氏名 秋吉 奈穂 氏 33歳

<教育長>

議会からの全員同意をしていただいた。天野教育委員さんが任期満了ということで、新しくけやき台の方から秋吉奈穂さんになっていただくこととなった。若い方からの視点、また保護者目線で教育委員として活躍していただくことを期待している。

##### (3) 12月定例町議会 一般質問関係

佐々木 教雄議員 「コミュニティバス」を利用した通学について

###### (1) 運用開始後に利用者（保護者）への意見収集、要望の保護者会等を行ったか

- ・10月より遠距離通学の児童の利便性向上や安全性確保等の観点から、コミュニティバスの利用を認める制度を開始。3km以上と特認校制度利用者は無料、2km以上で3km未満は自己負担。
- ・補助制度は、平成27年3月まで学童送迎タクシーを行っていた地区から、通学補助の復活を望む声があったことから、定例教育委員会で協議を行い、バスのダイヤ改正などを行って導入。
- ・意見や要望等については、導入時に利用意向調査を行ったのみ。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度中にアンケートを実施する予定。</li> </ul>
<p><b>(2) 利用者（保護者）の評価、評判を示せ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日利用している地区は、「通学にコミュニティバスが使えるようになってよかった。」</li> <li>・ときどき利用する地区から、「雨の日に乗れるようになってよかった。」</li> <li>・今後、アンケート結果や学校からの聞き取りなどで制度導入に対する評価を行いたい。</li> </ul>
<p><b>(3) 現状の問題点、課題を示せ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 27 年 3 月まで遠距離通学補助が行われていた地区に関する課題は、解決できた。</li> <li>・他の地区で 3 km以上の児童が、登校時刻にあった便がないため、利用することができていないなど課題、問題点はある。今後、定住促進課、学校、PTA などと連携・協力し、課題の解決に努めたい。</li> </ul>
<p><b>大山 勝代議員 学校給食における食育について</b></p>
<p><b>(1) 11 月初めの給食への金属片混入の原因と今後の対策を述べよ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原因は、大型洗米機と水道管を接続する部分からの「さび」が剥離し、水道水に混入したことによるもの。</li> <li>・安全・安心な給食が提供できるように、さびが出る原因となった大型洗米機を使わず、「無洗米」を使用することで混入の経路を絶っている。</li> </ul>
<p><b>(2) 給食用パンの国産小麦粉の割合はどうか</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年 4 月から国産小麦粉 100%、すべて佐賀県産小麦を使ったパンを提供。</li> </ul>
<p><b>(3) 米は基山産米で賄えているか</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・すべて地元、基山産を使用。</li> </ul>
<p><b>(4) 有機野菜の提供は推進できているか</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食への関心を高めるため、昨年度、2 回、無農薬・減農薬で育てられた米やダイコン、サツマイモなどの野菜を使った給食を提供した。</li> <li>・有機野菜の提供は、コスト面や給食に必要な量の確保が難しいなどの課題もあるが、今後、回数を増やしていきたい。</li> </ul>
<p><b>(5) 食料自給率向上のために、食育の推進はどうしているか</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食料自給率低下解消のために、学校給食の食材として、できるだけ地域の農産物を優先的に使用することが、大切である。給食における地産地消の取組は、子供たちに地元の生産者や地元産の農産物の重要性の理解、あるいは農業に興味をもつことにも繋がる。また、食に関心をもたせ、『食の未来』について子供たちに考えさせる取組等が大切なので、社会科や家庭科、学級活動の時間などを使って、食育の充実を図っている。</li> </ul>
<p><b>(6) 憲法で保障された教育の無償化において、給食費無償化の検討はどこまで進んでいるか</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・給食費は、学校給食法において給食で使う食材に係る費用は受益者負担とされている。</li> <li>・町では、生活困窮家庭の児童生徒には生活保護や就学援助制度など助成制度により、給食費についても全額補助を行っている。</li> <li>・多子世帯への支援事業として、町内小中学校に同時に通う児童生徒のうち第 3 子以降の給食費を全額補助する学校給食食材費補助制度を令和 4 年 11 月から実施している。</li> <li>・無償化の拡大は、今後も子育て支援策の中で必要な施策の優先順位について精査、検討を行う。</li> </ul>
<p><b>松石 信男議員 子どもの声が活かされるまちづくりについて</b></p>
<p><b>(1) 子ども議会の条例は、子どもの視点から基山町のまちづくりの提案と考えるがどうか</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども議会は、次代を担う子供たちが、議会や政治の仕組みなどについて実体験を通して学び、町政に対する理解と関心を深めることができる取組である。</li> <li>・条例議案については、可決されたもの、否決されたものにかかわらず、子供たちからの視点からのまちづくりへの意見や提案でもあり、参考になる。</li> </ul>
<p><b>(2) これまで 5 回の子ども議会で可決された条例でまちづくりに活かした事業はあるのか</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育学習課では、令和元年度の子ども議会で「基肄城を基山町のシンボルとしてもっと活用すべき」という提案理由で「基肄城デー」の制定が可決されたことため、翌年から基肄城や基山への関心をさらに深めてもらうための取組として基肄城絵葉書コンクールを毎年、開催している。</li> </ul>

就学援助費の拡大について	
(1) 令和4年度の準要保護世帯は何件か	・基山小 22 世帯、若基小 8 世帯、基山中学校が 35 世帯、合計 65 世帯
(2) 支給されていないクラブ活動費、PTA会費、生徒会費は必要な援助ではないのか	・クラブ活動費、PTA会費、生徒会費は、県内他の市町で支給対象としているところはない。 ・本町では、生徒会費についてはすでに支給しており、クラブ活動費も運動部活動に入っている生徒の部活動登録費を支給している。 ・PTA会費については、今後、拡充項目とするかどうか、検討したい。
(3) 生徒手帳代、部活動登録費の令和4年度の支給額はいくらか	・生徒手帳代の支給額は、1冊 190 円の新1年生の 13 人分で 2,470 円。部活動登録費は、一人 300 円で運動部活動に入っている 23 人に支給し、総額は、6,900 円。
(4) クラブ活動費、PTA会費、生徒会費を支給するにはいくら必要か	・生徒会費は、すでに全額支給している。 ・クラブ活動費も、部活動登録費を運動部活動に入っている生徒に支給している。 ・追加で必要となるのは PTA 会費のみ。必要額は 130,400 円。

<教育長>

佐々木教雄議員からのコミュニティバスの件については、「スクールバスを出さないのか。全部乗せるべきじゃないか」というところと、町としては、「スクールバスについては考えない」というや、コミュニティバスが今後、どうなっていくか、デマンドタクシーの実証実験が始まることもあって難しい部分が多かった。

大山議員からは、安全安心な給食の提供に努めるということと、無洗米を使うということに説明しました。総務文教常任委員会の中で無洗米は栄養価が低いのではないのかという質問や意見がされたということでしたが、そういったことはないという説明をしている。

給食のコッペパンの小麦粉は国産であり、米飯にも基山産のお米を使っていること、有機野菜の提供については、産業振興課と協力しながら増やしていきたいと答弁した。

給食費の無償化については今、給食費の値上げをしないように、値上がり分については町で補助しているということが続けていることと、第三子以降の無料化について今、小中学校に同時に通う町内の小・中学校で 3 人同時に通っているお子さんの 3 人目が無料としているが、その拡充も今後、必要に応じて検討するとの答弁も町長からもあったところである。

松石議員からは、こども議会関係と就学援助費の拡大関係だったが、そこで今後検討していくところは、PTA 会費を県内で支給してるところはどこもないが、必要額としては、13 万円程度ということで、今後検討していいのかなとは思っている。

### 3. PTA関係

- ・若基小学校 PTA アンケートについて (別紙)

<教育長>

若基小学校の PTA が実施したアンケート結果について資料を見ていただきたい。96%が現在の状況を確認できたというところで、全体についても地区 PTA からの脱退については賛成意見が多かった。

中身を読んでみると、PTA として活動していくことについては、前向きに捉えてある。

3 校で、連合会を作るかということについては様々な意見があるようだが、事務局をつくる必要はないのではないかと考えている。ただ、教育委員会等と連携をとりながらということでは、三校の連合体を作るというところは必要ではないかということである。鳥栖市のある小学校の加入率が今年 3 割とかになっているが、そういうことにならないようにということで、原則、全員加入の方向で基山町については、学校への支援ということについてはお願いしていきたいと考えている。

### 4. 基山町立小中学校 令和5年度定期健康診断結果

令和5年4月から6月まで各学校で実施した町立小中学校の定期健康診断の要受診となった児童生徒のその後の受診率 (令和5年12月15日現在)

○内科検診結果

	受診者数 (受診率)	要受診者 (割合)	受診者 (割合)
基山小	744人 99.3%	13人 1.8%	7人 53.8%
若基小	233人 100%	32人 13.7%	16人 50.0%
基山中	370人 97.9%	11人 3.0%	8人 72.7%

○脊柱側弯検診結果

	受診者総数 (受診率)	要受診者 (割合)	受診者 (割合)
基山小	224人 94.1%	16人 7.1%	11人 68.8%
若基小	78人 98.7%	6人 7.7%	4人 66.7%
基山中	362人 95.8%	46人 12.7%	22人 47.8%

○眼科検診結果

	受診者総数 (受診率)	要受診者 (割合)	受診者 (割合)
基山小	745人 99.4%	22人 3.0%	16人 72.7%
若基小	232人 99.6%	11人 4.7%	4人 36.4%
基山中	368人 97.4%	6人 1.6%	4人 66.7%

○耳鼻科検診結果

	受診者総数 (受診率)	要受診者 (割合)	受診者 (割合)
基山小	366人 99.7%	107人 29.2%	90人 84.1%
若基小	112人 100%	38人 33.9%	18人 47.3%
基山中	257人 96.3%	50人 19.5%	23人 46.0%

○歯科検診結果

	受診者総数 (受診率)	要受診者 (割合)	受診者 (割合)
基山小	747人 99.7%	181人 24.2%	80人 44.2%
若基小	232人 99.6%	41人 17.7%	19人 46.3%
基山中	366人 96.8%	45人 12.3%	6人 13.3%

【参考資料】全国の状況

2020年度学校健診後治療調査の要受診率・未受診率

	2020年調査		2018年調査	
	要受診率	未受診率	要受診率	未受診率
歯科	31.1%	62.3%	32.0%	57.0%
眼科	4.6%	55.4%	5.1%	47.6%
視力検査	36.9%	58.3%	33.3%	56.3%
耳鼻科	13.5%	57.4%	15.7%	50.8%
聴力検査	1.4%	41.2%	1.1%	35.0%
内科	3.7%	53.6%	3.6%	50.5%

要受診の児童生徒に対し、学校からは医療機関で受診の必要があることを保護者に夏季休業中前に知らせ、受診を早期に行うよう促している。受診が終わっていない家庭も多いことから、各学校で再度、受診勧告を行っている。

教育委員会では、学校保健法第14条にもとづき、健康診断の結果で、疾病がある児童生徒には治療を指示し、並びに運動及び作業を軽減する等適切な措置をとるように学校に指示している

<委員>

視力検査の結果を学校から子供たちがもらって、親に見せない子がいると聞いた。目が悪くなっていることを親に知られたら、ゲームをさせてもらえないからだという。学校から受診勧告をした場合、子ども経由で親に渡すのであれば、見ましたというサインを必要とするなどの工夫が必要ではないだろうか。

指導主事より小中学校の現況報告

小学校

<指導主事>

もちつき大会、しめ縄づくり、集会に地域の方々に参加いただき、感謝のお言葉をお伝えしています。

中学校

<指導主事>

三者面談を実施しており、生徒の進路決定が進んでいる。

### **協議事項**

#### ○遠距離通学児童への通学補助等について

→通学距離がおおむね3km以上：補助対象

- ①公共交通機関利用希望者(コミュニティバス等)⇒公共交通機関フリーパス券支給  
(1ヶ月フリーパス券が月1,000円のため、実質無料)
- ②自家用車での送迎や徒歩通学者⇒公共交通機関フリーパス券実費相当分の補助

→通学距離がおおむね2km以上：保護者負担

- ①公共交通機関利用希望者(コミュニティバス等) ⇒ 個人負担  
(片道50円 1ヶ月フリーパス券購入の場合は1,000円)
  - ②自家用車での送迎 ⇒ 原則徒歩だったが、送迎を認める。
- ※ 保護者が学校へ申請し、許可証発行する。

→小規模特認校(若基小学校)制度利用者 条件によって補助

- ①公共交通機関(コミュニティバス) → コミュニティバスフリーパス券支給  
※デマンドタクシーは基山小の遠距離通学対応のみとし、特認校利用は対象外とする。
- ②3km以上の自家用車送迎や徒歩通学者⇒公共交通機関フリーパス券実費相当分の補助

<委員>

- ・3年後、5年後どうなるかという長期的な視点で考えていくことや、費用対効果を考えて対応していくことが大事である。
- ・自家用車送迎を認めることが解決の早道だと思うが、その場合も、きちんとルールを決めてその周知を継続的に行い、事故が起こらないよう対応が必要である。

#### ○基山町オンデマンド交通実証運行事業

##### **【通学支援について】**

午前7時台のデマンドタクシー車両が運行していない時間帯においては、今回の基山町オンデマンド交通実証運行事業の対象である10区、13区に限らず、3km以上の遠距離通学児童についても実証事業を行う。

対象者である4人に実証実験の案内と利用の有無に関するアンケートを配り、1月18日に利用方法等の説明会を行う予定。

#### ○GIGAスクール構想の更なる充実について

(端末持ち帰りの本格的開始へ向けて)

端末持ち帰りを始めた場合の教科書、ノート等学用品に関する持ち物の配慮について

児童生徒の携行品の重さや量が、身体の健やかな発達に影響が生じかねないこと等の懸念があるという点を踏まえ、児童生徒の携行品を次のように配慮することを検討。

→携行品を少なくすることと、端末を毎日使う習慣をつけるということを目的として連絡帳をデジタル化することを検討している。

・まなびポケットという学習eポータルの中にある機能で、連絡帳として利用できる機能がある。保護者のスマートフォンにまなびポケットのアプリをダウンロードし、利用ができるため、現在連絡帳に書いている内容をまなびポケットで行うことが可能である。

・個別の連絡事項については「まなびポケット」、緊急連絡や地域の方への連絡が必要な情報は「マチコミ」というように併用を行うことも検討している。

<委員>

- ・教員が ICT や GIGA スクールについてより深い認識を持つことが必要なのでは。ICT や GIGA スクールの広めていくという思いをまずは教員が持つことが大事だと思う。
- ・教員向けの研修などが必要だと感じる。